

# 台湾旅行記 2024

## 高雄・台南・台北

2024/2/21 ~ 2/26



# 台灣、まだまだ知らないことばかり



# 目次

|                                              |    |                                              |    |
|----------------------------------------------|----|----------------------------------------------|----|
| <a href="#">この本について</a>                      | 2  | <a href="#">南華観光商圈</a>                       | 23 |
| <a href="#">そうだ、台湾に行こう（高雄もね）</a>             | 3  | <a href="#">六合夜市で全身マッサージ</a>                 | 24 |
| <a href="#">台南にも寄るか</a>                      | 4  | <a href="#">高雄 2 日目終了</a>                    | 25 |
| <a href="#">PUIPUI モルカーの玩具フェア？</a>           | 4  |                                              |    |
| <a href="#">爆竹祭り（鹽水蜂炮）に参加を決める</a>            | 6  | <b>PART3 高雄から台南へ</b>                         |    |
| <a href="#">ジアリン君とコンタクトを取る</a>               | 8  | <a href="#">2024 年 2 月 23 日（金） 早起きして行動開始</a> | 27 |
| <a href="#">事前準備</a>                         | 8  | <a href="#">チェックアウトして台南へ</a>                 | 28 |
|                                              |    | <a href="#">CARTOON MAGIC CLUB/卡通球員卡</a>     | 29 |
| <b>PART1 台湾入境（高雄入り）</b>                      |    | <a href="#">今夜の宿に移動</a>                      | 30 |
| <a href="#">2024 年 2 月 21 日（水） 出国</a>        | 10 | <a href="#">チェックインと入室</a>                    | 31 |
| <a href="#">台湾に入境</a>                        | 11 | <a href="#">夕食の麺線ファストフード</a>                 | 32 |
| <a href="#">チェックインと昼食</a>                    | 12 | <a href="#">赤坎楼</a>                          | 32 |
| <a href="#">愛河湾のびよ</a>                       | 13 | <a href="#">大天后宮</a>                         | 33 |
| <a href="#">美麗島駅のライトショー</a>                  | 14 | <a href="#">ホテルに戻る</a>                       | 33 |
| <a href="#">ホテルに戻る</a>                       | 15 | <a href="#">明日の予習</a>                        | 34 |
| <a href="#">六合夜市</a>                         | 16 |                                              |    |
|                                              |    | <b>PART4 鹽水蜂炮（爆竹祭り）</b>                      |    |
| <b>PART2 高雄観光</b>                            |    | <a href="#">2024 年 2 月 24 日（土） ローカルバーガー</a>  | 36 |
| <a href="#">2024 年 2 月 22 日（木） 屋台おにぎりの朝食</a> | 18 | <a href="#">部屋でのんびり待機</a>                    | 37 |
| <a href="#">蓮池潭</a>                          | 19 | <a href="#">チェックアウト</a>                      | 38 |
| <a href="#">春秋御閣と五里亭</a>                     | 19 | <a href="#">駅でジアリン君と合流して昼飯</a>               | 38 |
| <a href="#">元帝廟北極亭までの道</a>                   | 20 | <a href="#">紙牌屋</a>                          | 39 |
| <a href="#">元帝廟北極亭</a>                       | 21 | <a href="#">新榮に移動</a>                        | 41 |
| <a href="#">左營天府宮と高雄左營孔子廟</a>                | 22 | <a href="#">バスでイベント会場へ</a>                   | 41 |
| <a href="#">迷走のうえ新左營駅の駅ビルへ</a>               | 22 | <a href="#">フルフェイスを購入</a>                    | 42 |

## 爆竹祭り（鹽水蜂炮）に参加を決める

基本的に台北の観光予定は日・月ともに固まったものの、高雄や台南については、あまり自分の中ではイメージできてませんでした。まあ正直なところ高雄には「港町」くらいのイメージしかなかったので「僕はシーフードはどちらかと言えば苦手なほうなんだよなあ…」「重巡タカオのアクキーでも持参して海辺でキャッキヤと記念撮影でもするか？」くらいのイメージしかなく。台南に至っては「ひなびた街歩きと飯」くらいしかガイドでもお勧めポイントがなかったので「うーん」と思いつつ「もしかして丸2日ずつ泊まるのも厳しいか？」とか思ったものでした。しかしながらネットで高雄と台南の観光スポットを調べるうち、ふと「爆竹祭り」という単語が目に入りました。なんだろうコレ。検索してほどなく日本語の「公式サイト」なるものを発見。

<https://xn--1rwm9g63x6ov.com/>

サイトの画像より。なんだか平穩楽しそう→



そのサイトに日本語で記してあるので動画を含めてご興味のある方はご覧いただきたいのですが、

- ・鹽水蜂炮とは、台湾で180年以上も続く旧正月の終わりを祝う台南での祭典である
- ・100万発以上のロケット花火を2日間にかけて盛大に町中で放つ

### ・台湾の奇祭

- ・怪我や火傷の危険なく観光客が安全に楽しむにはヘルメットやフルフェイスや長袖による完全防護が必要

などと書かれており「なんだコレ」とゲラゲラ笑いながら読んでいたものの、ふと「鹽水蜂炮の開催日は暦の関係で毎年変わるが、今年の2024年は2月23日（金）～24日（土）の2日間。という自分が台南に遊びに行く日程を直撃することに気が付くなり「これは話のタネに是非とも観に行くべきではないか」「むしろ今回のぶらり台湾旅行はFancy Frontierでなく**コレを観るために自分に行く**ようなものなのでは」と認識を改め、全力参加を軸に検討を開始しました。とりあえず今の台南市の宿はキャンセルして、このイベント開催地に近いホテルを取り直すかな…と思いながら鹽水蜂炮についての調査を開始します。

# PART 1

## 台湾入境（高雄入り）



だいたい、ジアリン君のバイクで回りました。

## 六合夜市

ということで 22 時くらいに部屋を出ます。夜市ならばこれからの時間でしよう。

高雄の重要観光スポットである「六合夜市」が宿のすぐ東側の、美麗島駅方面にあることは掌握済だったので、てくてく。こっちだよな…と思って進むとやがて提灯が歩道に沿って吊るされており、ほどなく看板に到着。ちょうど観光客らしい女性 2 人組が通りかかったので、頼んで撮影してもらいました。

ここから東方面に進むと、ありましたよ六合夜市。



基本的には台湾では「どこにでもある」、何百メートルか道路を通行止めにして、道の両側には屋台が並んでいるというものなので、あまり屋台の写真を載せても仕方ないのですが、この「高雄城」という表記に「ほほう…むかしの軍事拠点だったのかな」と思いつつカメラをぱちり。

もっともコレ、あとで調べたらただの**ゲームセンター**だったのですが（笑）。

基本、食べ物屋を中心に並んでいる夜市の屋台は胸が躍るものですが、残念ながら 17 時半に夕食を済ませた自分の胃袋ではまともな食事は喉に入らないのですが「これなら

何とか」ということでソフトクリームに手を出します。50 元。うん、おいしい。

とりあえず六合夜市の東端まで歩いてから道を西に戻って夜市を出て 23 時過ぎに宿へ戻ります。フロントで「近くにコンビニはないの？」と聞くと、少しだけさらに西に行くとファミマがあることを教えて貰ったので、そのままフロントを出てから、お気に入りの乳飲料メーカー「健酪」いちご味を買ったり、去年香港で知った「京都念慈菴」のど飴（香港では見なかった金柑味）を購入してからホテルに戻り、部屋に戻ります。

そこそこ汗をかいたもののシャワーを再度浴びるほどではないかということで、さすがに睡魔も襲ってきたので日付が変わる前に就寝。

# 高雄觀光



## 2024 年 2 月 22 日（木） 屋台おにぎりの朝食

7時半起床。花粉のない国の朝のなんと快適であることよ。

想定内だけど昨夜はけっこう愛河湾を含めて 14000 歩くらい歩いてしまったので股関節を中心に足ががたついているので、ベッドに横になりツイッターをやりながら下半身のストレッチをする。あとバイク後座席パイプを余計な力を入れてつかみ続けすぎたため、わずかに腕と肩の筋肉痛。

8 時過ぎに腹が減ってきたので、朝食にするかとゆるゆると服を着てから 9 時前に出る。朝の散歩がてらに六合夜市のところまで歩けばなんか朝食でも出す屋台のひとつでもあるだろうさ…と思ってホテルを出たら、道路をはさんだ目の前に屋台。おにぎりなのかな？ 屋台の前には 3 台バイクが止まっており、地元民らしい兄ちゃんたちが順を待っています。



料理内容は不明であるものの、老夫婦でやっている地元民が覇気にしているような屋台飯が**おいしくないわけではない**ので、さっそく自分も注文して待ちます。量も不明ながら大 45 元を 1 個。

おばちゃんが屋台の色々な具材をフライパンで炒めつつ 1 個 1 個おにぎりに包みます。自分の分を受け取り、ホテル 1 階のフリードリンクでホットの抹茶ラテを入れてから部屋に持ち帰ります。



さっそく部屋で開封。中の具材の内容はよく分からなかったものの握りこぶしくらいあるヤツをかぶりつくと何も期待を裏切らずに**うまい**。特に口に合わない具材が入っていたでもなく、今の僕の胃袋にはちょうどいいサイズ。昼飯も取るし、これで 45 元。満足。明日もこれでいいかなあ。

朝の薬も飲んで 9 時半。腹が落ち着いたら、部屋をベッドメイクして貰える程度には片付けて、いよいよ今日の観光に出発しましょう。高雄の最大の目的スポットであった「愛河湾のぴよ」を昨日クリアしてしまったので、今日は勤務中のジアリン君に頼らずにのんびり蓮池潭や孔子廟を 1 人でぶらついてから夜市でしめという程度のゆるゆるプランしか入れていません。

# PART 3

## 高雄から台南へ



高雄から台南へ北上（電車で1時間）



よく知らない夜市が立っていたのを素通りしたり（満腹だったので）、怪しげな日本語の飯屋を見て明日寄るのもありかと思ったり。安定の「らまい」。

コンビニで買い物をして 20 時には自室に戻る。今夜の観光はこれで終了。やはりまだ疲れている。とりあえず部屋に戻るなり服を脱ぎ、トイレとシャワーを済ませてさっぱりする。熱い湯は出る。到着時は疲れと空腹も手伝って「うーん… 2 つ星…」とこぼしたここにももう慣れた。何日でも行けるで！実質、今夜だけだけど。

## 明日の予習

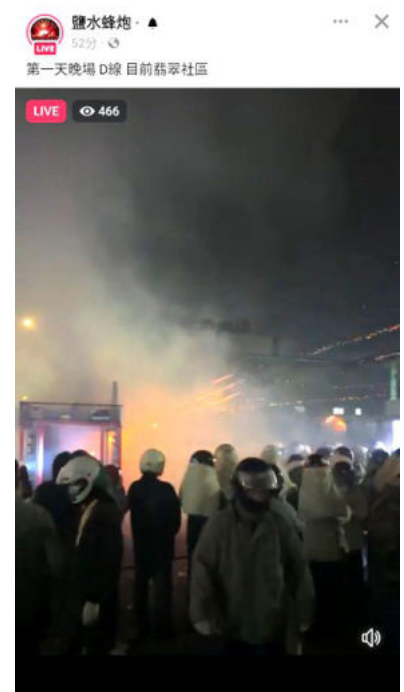
今夜はもうやることはないので、ベッドに転がってごろごろするうち、ジアリン君から鹽水蜂炮の「実況サイトがありました」ということでさっそくスマホで動画を見始める。

もともと僕らは明日の 19 時からをメインと位置づけているけど、そもそも今夜からすでに前夜祭というか始まっているんだよね。

スマホの手持ち動画を見ると、暗い中をフルフェイスのおっさん集団がうろうろしたり花火台を押ししたりロケット発射を見送りの

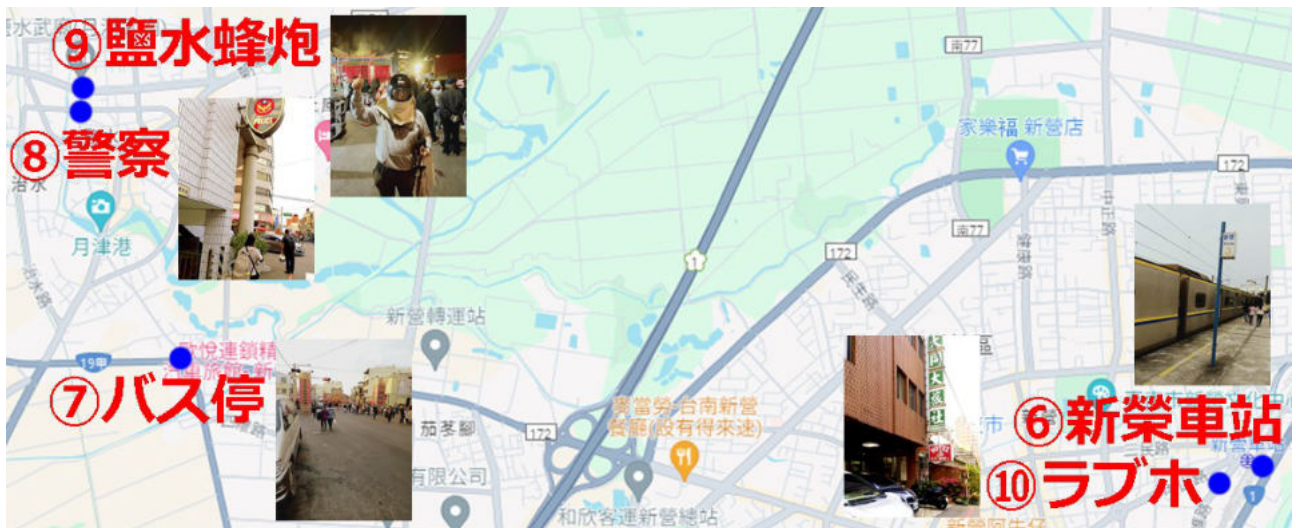
**無茶苦茶怪しい映像。**明日の夜には自分もここに居るのかと思えば期待値が上がります。

きりがないので日付が変わる頃に体力温存も兼ねて就寝。



# PART 4

## 鹽水蜂炮 (爆竹祭り)



鹽水蜂炮のある新榮駅は、台南駅から電車で1時間北上

もともとホテルサイトで新栄駅チカ安宿が予約できて  
いれば最初からそうしていたのだが…とも思いつつ、  
そちらの裏通りを奥に進むと、なるほど安ホテルが。  
入口受付で「ここに今夜泊まれるだろうか」と聞くと、  
受付のオバちゃんはこちらを見てから横にいた息子と  
思しきガキと目配せし「満室」と断ってきました。  
抗わずに出てさらに奥に進むと別の安ホテル。ここで  
受付のジジイには同様に「満室だよ」と言われるも、  
今度は「いまから明日の早朝まで寝たいだけなんだが、  
何とかならんかね」と交渉を持ち掛けると、ジジイは  
僕の風体と荷物を見て態度を軟化させ「…2時間後の



23時20分から貸せるよ」と言ってきました。なんだその時間。ここはラブホか？（そうかも）  
なんだか **RPGをやっている**みたいだと思いつつ「エアコンないよ」「OK」「朝9時には出て  
行ってもらおうよ」「OK」「現金で前金でね」「OK」とか多少の確認会話をしてから「オーケー  
最後の質問だ。…で、いくら？」と聞くと、ジジイは少し考えて「いまは正月休みのシーズンだ  
から（うん知ってる）…600円でどうだ？」と言ってくるのを頭の中で5をかけて即応。入口に  
400元とか書いてあるのは気にしない（ていうか、どっちにしても安いでしょ（笑））。  
無事に交渉成立。ただちに現金を支払って宿帳に名前を書く。

いちおうパスポートは見せたものの、別にコピーも取らないし、そもそもそんなものを気に  
しているそぶりはない。**ラブホだな**。ていうか、そりゃまあ、こんな所ならホテルサイトで  
予約を受け付けているわけではないよな…。また貧乏旅行の経験値を積めた。

階段に荷物を置いて（正直、これだけでも助かる）、身軽になって「じゃあまた後で」と言って  
22時にホテルを出ます。

ひとまず駅に戻りました。薄暗い駅前のベンチに座っているひとを見て「あるいは俺もそっち側  
だったかもな…」と思いつつ、待合室のファミマでガリガリ君をもう1本。

あと30分くらい時間を潰してから、最後の飲み物を買って23時にここを出れば良いでしょうね。  
やれやれです。

暇だったので明日朝の台北行きの電車を確認してから、一番早い7時6分発の自強号（特急）の  
自由席券を窓口で買います。618元。台北着は10時39分予定。これでいいけど、よく考えたら  
これで朝寝坊できなくなったな…と思いつつ、まあ大丈夫だろうけど。

# PART 5

## 台北観光



いつもの台北観光コースはぜんぜん行きませんでした

いささかの量があるようにも見え、今の俺の胃袋でこれは完食できるのだろうかと考えつつ口に運ぶと、意外とあっさり目の味付けでもあり、するする入る。そういえば今日は早起きしたから、朝食を食べたのはそろそろ5時間も前だった。美味しく完食。

## Fancy Frontier 42

では、いよいよ Faoncy Frontier に向かいましょう。一応本日のメイン想定イベントです。

圓山駅を東側に渡り、花博公園へ。普通に看板などで誘導されるままに会場前の入場券の列へ。特に待機列が発生しているでもなく（まあ3日イベントの最終日の午後だし）カタログ付き当日券 200 元を購入し、12 時半、そのまま入場できました。

目当てのサークルチェックどころか、ブロックのチェックすら何もまともにやっていなかったのので、テキトーに会場内を端から歩いて足の向くままに歩きます。

まあ、そこそこ人もたくさん居たけれど通行に支障が出るほどでもないし、1000 サークルほどのようでもあるしね。ぶらぶら。中国語は読めないし目当ての作品もないけど、楽しいなあ。



エロ同人誌をパラパラ。そっかあ…今はもう台湾の同人誌即売会でも普通に **18 禁同人誌が購入できる**んですね。購入者の年齢チェックの類もないけど、まあそれは日本の同人誌即売会でも同じか。

無修正ではなく性器の修正は、カリなどを黒海苔でなく、白抜き。

思わず「ワレ、同人サークルだったんか！」と会場で声が出た習近プーのグッズ販売。

これについては1年前に台湾に来る前に日本で「なんだか変なグッズがあるぞ」というのをヤフオクなどで目撃して、

日玉歸



## あとがき

というわけで無事に終了した「台湾旅行記 2024」みなさまお楽しみいただけましたでしょうか。

コロナ禍の時期を除けば、台北はほとんど毎年のように行っていたわけですが、そういえばまだ高雄には行ったことがないんだよねえ…と思い立って「高雄から入って台北から出る」プランを計画してチケットを取ってみました。当初は「噂の台湾新幹線で南北縦断をしてみたい」程度の思い付きだったのですが「せっかくなので台南にも寄ろう」と考えているうちに**爆竹祭りが直撃**したことに一週間前に気がついたため、急遽これがメインであるかのごとくに計画をシフト。まあ事前にこれメインで行くならば、もうちょっとやりようがあったらというのがあったわけですが「駅で夜を明かす」などの可能性も織り込みつつも結果的にはなんとか成功。W ついでに台北のほうも、あまりよく調べずに PUIPUI クレーンゲームの聖地に遊びに行くために台北市内と言っても**郊外のモーター**といったイレギュラーな編成にしてみました。まあいずれにせよ台湾はこの円安の折でもまだまだ「日本なみの物価で遊べる飯も旨い観光地」であるので引き続き今後も折にふれ遊びに行きたいと思っています。「昔は今の半分で遊べた」みたいな話も、ないっちゃんないですが…。

本書は「2024 年の夏コミケの新刊」になりましたが、9 月にはすでにクアラルンプールへの旅行（9 月 13 日～23 日）を入れているので冬コミケ新刊旅行本はそちらになると思われます。乞うご期待。この円安の折でも、マレーシアはまだ安く遊べるかな…？

(完)

### 台湾旅行記 2024（高雄・台南・台北）

発行：新小岩マジック <https://x.com/kondohi>

発行日：2024年8月11日（V1.0）

印刷所：日光企画

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます



風使いの KARASU